

# 道徳だより

令和2年7月


～夢と笑顔と「ありがとう」が広がる上里東小学校～

いよいよ待ちに待った夏休みが始まります。夏休みでなければできないこと、日頃できないことなどを経験させたものです。夏休み中、公民館や町の図書館などでも様々な行事が計画されています。それらをうまく利用し、地域と関わりを持ちながら、いろいろなかを経験するのはいかがでしょうか。

さて、「道徳だより」は、学校での道徳の時間を通して子供たちが何を考えているのか、どんな感想等をもったかなどについてお知らせしています。心の教育について、学校と家庭のかけ橋になればと思います。是非、お読みください。道徳だより7月号では、6年生の授業の感想をまとめましたので、御家族でお話のあらすじと同じ場面を思い浮かべながら、読んでいただければと思います。

## <6年生の授業より>

**主題名** 伝統の心づかい 『ほくのお茶体験』  
**ねらい** 相手を敬ったり、気遣ったりする気持ちを形として表す作法の意義を理解し、受け継がれてきた我が国の伝統や文化の良さを感じ、大切にしようとする心情を育てる。  
**話の内容**

 <p>お茶の作法って、お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>	 <p>お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>	 <p>お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>
 <p>お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>	 <p>お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>	 <p>お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>
 <p>お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>	 <p>お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>	 <p>お茶を飲む前にして お茶を飲む前にして</p>

○お茶体験で主人公が最初に感じた気持ち  
 やっと終わった。  
 習得だったな。  
 面倒だったな。  
 作法に対して否定的な考え持った主人公

日本の伝統や文化は『おもてなしの心』を大切にしています。相手の事を敬う気持ちや思いやる気持ちを上里東小の児童には身に付けてほしいものです。

伝統的お茶の心づかいについて考えてみましょう。(児童の考えや感想から)  
 ・形で気持ちを表すことができるんだな  
 ・態度で表すことが大事。  
 ・相手の気持ちを思いやることが大切になる。  
 ・日本の伝統はこれからも伝えていく必要がある。  
 ・お茶以外にも日本の伝統も知りたい。

6年生では総合的な学習の時間を使って、茶道体験を実施しています。今年度は、まだ実施できていませんが、地域の講師の先生方を招いて、抹茶を点てることから体験します。地域の方との交流、伝統や文化を体験することができる時間となっています。